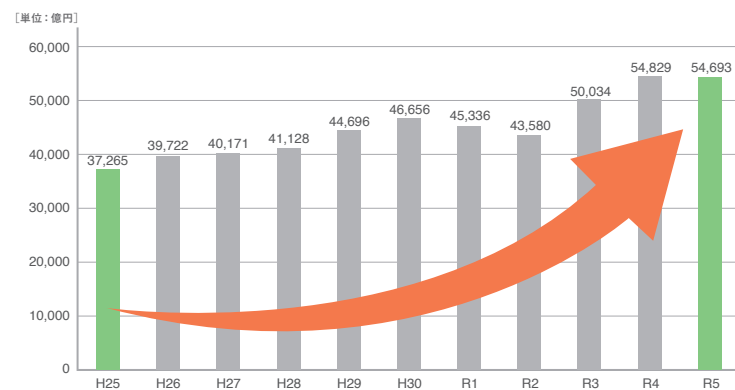


ものづくりの
ミライは明るい！

宮城県のものづくり パワーアップ中！

ものづくりの世界は日々進化を続けています。もちろん、宮城県も例外ではありません。宮城県の製造品出荷額等の推移、宮城県の製造品出荷額等の内訳、宮城県内に広がる工業団地、進化を続ける宮城県の新しいものづくりといった、宮城県のものづくりのイマと、ミライにつながる新しい動きを知れば、今まで以上にそのすごさがわかります。

宮城県の製造品出荷額等の推移



[総務省・経済産業省 工業統計調査(平成25年～令和元年)、総務省・経済産業省 経済センサス活動調査(令和2年)、総務省・経済産業省 経済構造実態調査 製造業事業所調査(令和3年～令和5年)]

自動車などの輸送用
機械器具製造業、
食料品製造業などが牽引！

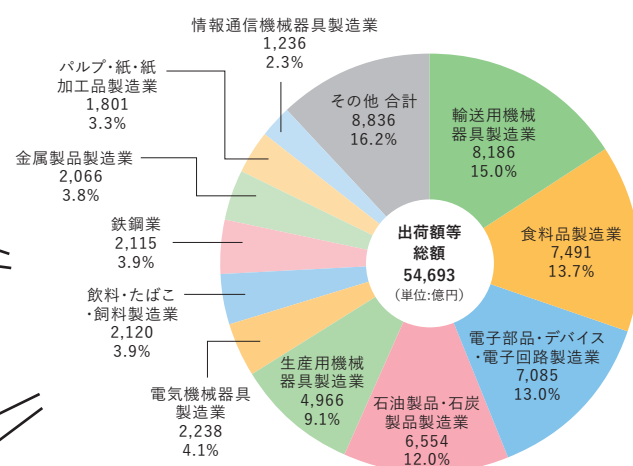
平成25年から令和5年のデータでは、宮城県の製造業の出荷額は増加傾向にあります。自動車や食料品など生活に身近な分野が、宮城県のものづくりの成長を支えています。

宮城県では、何をつくっているの？

製造品出荷額でみると、輸送用機械器具製造業が15.0%で第1位。第2位の食料品製造業も大きな割合を占めています。第3位の電子部品・デバイス・電子回路製造業と第4位の石油製品・石炭製品製造業、半導体製造装置などを含む第5位の生産用機械器具製造業までを合わせると全体の60%以上となり、これらが地域の主力産業となっていることがわかります。

輸送用機械器具製造業は
前年の6,825億円(第4位)から
大きく伸びています！

宮城県の製造品出荷額等の内訳



[総務省・経済産業省 経済構造実態調査 製造業事業所調査(令和5年)]
※項目の金額およびパーセンテージは、単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない

成長&進化する宮城県のものづくりに注目！

宮城県内に広がる
ものづくりベース

宮城県は、完成自動車等の移出入拠点としても重要な役割を担う仙台塩釜港(仙台港区、塩釜港区、石巻港区、松島港区)、航空貨物を取り扱う仙台空港、東北縦貫自動車道をはじめとする高速道路ネットワークを有しています。ものづくりにおいては、流通に有利な場所に工場を構えられることもポイントのひとつ。実際に、宮城県内の工業団地は空港や高速道路のIC、国道近くなど、交通アクセスのよい便利な場所を中心に次々と広がっています。今も新たな造成が進み、宮城県のものづくりベースは進化中です。



ますます進化中！宮城県の新しいものづくり

今、多方面から注目を集める宮城県のものづくり。

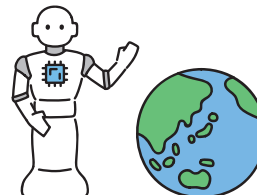
最先端の技術や新しい発想で、日常から宇宙まで、幅広い分野への挑戦が広がっています。

宇宙にもつながる！精密技術

ものづくり

×
最新技術

高精度な月面着陸を実現する3Dプリンティング技術や、航空機やロケットの部品をナノレベルの精度で磨き上げる研磨加工技術。さらに、協働ロボットやAIを取り入れた生産ラインなど。航空宇宙産業やスマート工場のような、最先端分野でも高い技術力が活かされています。

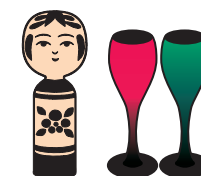


伝統の技に新しい価値を

伝統工芸

×
イノベーション

伝統的工芸品にNFCタグを組み合わせ、安心して流通できる仕組みを整えたり、暮らしに取り入れやすい雑貨としてアレンジしたり、宮城県の伝統工芸は新しい形へと進化し続けています。伝統の技と美しさを守りながら、今の時代に寄り添う工夫が広がっています。



身近な課題を未来の仕事へ

ものづくり

×
社会課題解決

廃棄される漁網を新たな素材として生まれ変わらせる取り組みや、先端テクノロジーによる野菜の安定供給、鳥獣対策で捕獲した野生動物をジビエとして活用する取り組みなど。環境や地域の課題に向き合いながら、宮城県ならではのものづくりの可能性が広がっています。

